



# 子どもたちに 健康と命の大切さを育む —教師のためのがん教育—

2021年度から中学校、2022年度から高校で「がん教育」が始まります。「悪性新生物(がん)」は、日本人の死因の第一位であり国民病とも言われています。その中で「がんそのものの理解やがん患者に対する正しい認識を深める教育は不十分である」と考えられており、「学校教育を通じてがんについて学ぶことにより、健康に対する関心を持ち、正しく理解し、適切な態度や行動をとることができるようにする」(「がん教育」の在り方に関する検討会, 2015)ことが求められています。

また、がん教育は学校教育活動全体で健康教育の一環として「保健体育科を中心に学校の実情に応じて教育活動全体を通じて適切に行う」ことが大切であり、「がん専門医をはじめとする医療従事者やがん経験者等、学校外の人材を積極的に活用することが重要」(文部科学省, 2016)になります。特に「中学校,高等学校では主として科学的根拠に基づいた理解をすることを主なねらいとする」(文部科学省, 2016)という方針を踏まえると、がん教育は保健体育科を中心としながら外部講師との連携によって子どもたちにがんの認識を深めていくことが求められています。

そこで、本講座は、医療従事者とがん教育の中核を担う保健体育科教育論による現状理解とその共有を通して、がん教育の充実に向けた一助にしたいと考えています。

申込先

メール : [chicken-staff@okinawa-u.ac.jp](mailto:chicken-staff@okinawa-u.ac.jp)  
(件名に「10月9日公開講座申込」、本文に「氏名・電話番号」を記載)

「Zoomウェビナー」でオンライン講座をお届けします。ネットに接続し、PC・スマホ・タブレットなどから視聴できます。事務局より、視聴する際に接続するログインURLを講座の前日までにメールでご案内します。

今後の公開講座等の情報をご希望の方へLINEで配信します。下のQRコードより登録ください！



## 開催概要

日時: 2021年 **10月9日(土)**

**14時~15時30分**

形式: Zoomウェビナー配信(無料)

主催: 沖繩大学地域研究所 (お問合せ: TEL 098-832-5599)

協力: 人文学部福祉文化学科、健康栄養学部管理栄養学科

後援: 沖繩・南部こだまの会

## プログラム

### ◆ 話題提供

- ① 医療の立場から  
「中学生に伝えたい沖繩のがんの話」 山代 寛
- ② 学校の立場から  
「学校におけるがん教育の現状と諸課題について」 笠原 健市
- ③ 学校の立場から  
「新学習指導要領における  
“がん”の取り扱いと指導の実際」 砂川 龍馬

### ◆ フリートーク [コーディネータ] 嘉数 健悟

「子どもたちに健康と命の大切さを育むがん教育とは」

山代 寛

(沖繩大学健康栄養学部管理栄養学科教授)

20年以上外科医としてがんの臨床に関わり、がん、生活習慣病予防の観点から喫煙対策を天職と公言。2016年より県次世代健康教育事業生活習慣班班長。

笠原 健市

(沖繩県立開邦中学校保健体育科教諭)

2018年、「医薬品の教育」に関する研究発表を通じて健康教育に関わる。現在は、文部科学省委託事業における「がん教育教材検討委員会」を担当。

砂川 龍馬

(那覇市立石田中学校保健体育科教諭)

国立教育政策研究所教育課程研究指定校事業をはじめ、学校体育研究発表大会等で実践を発表。那覇教育事務所指導主事補(保健体育)。

嘉数 健悟

(沖繩大学人文学部福祉文化学科准教授)

教師教育学、保健体育科教育学。県内の小中学校の先生たちと体育、保健体育科の授業研究に取り組んでいる。